

こども大使 アジア太平洋こども会議参加に向けての準備

2008年ハワイこども大使達が、7月9日から24日にかけて日本の福岡県で実施される「アジア太平洋こども会議 世界青少年キャンプとホームステイプログラム」の参加に向けて出発の準備をおこなっています。

7月3日にこども大使達はリンダ・リングルハワイ州知事に会い、知事から励ましの言葉とアドバイスを頂きました。リングル知事は、こども大使達に「みなさんはハワイ州の代表という役割を担っている、という事を忘れないようにしてください。」と話されました。また知事は「こども大使のみなさんがどのように行動するかで、他国の人たちのハワイに対する印象が築き上げられるのです。」そして、「今日みなさんに会って、他国の人たちがハワイに対して良い印象を持ってくれることを確信しました」と伝えました。知事はこども大使達が出発する前に彼らに会い、彼らが日本から帰国した時に、再び彼らの日本に対する印象と日本で経験の話を聞くために会う予定になっています。



こども大使達、リングル知事、日米協会 会長 エドウィン ホオウキンス（右）

福岡に向けて出発する前日の7月8日の朝、こども大使達はKGMBのスタジオに朝の「サンライズ オン KGMB 9」というニュース番組に出演しました。日本に集まってくる世界各国からのこども大使達の前で、ハワイならではの文化プログラムとして披露するフラダンスをスタジオで披露した後、ニュースキャスターのグレイス・リーさんがこども大使達にインタビューをしました。



放送終了後 KGMBの前にて
こども大使達、引率者のキャリー・フライさん、2008年「平和大使」のホルビー・タケダさん

ハワイ日米協会（JASH）は毎年福岡に派遣するこども大使を選抜し、育成しています。11歳の生徒を対象とした、ハワイこども大使への募集は秋学期に公立と私立の両方のそれぞれの学校に案内状を送ることから始まります。選抜は通常2月に行われ、選ばれたこども大使達（男女各4名）は週末に行われる一連のワークショップを通して一つのチームとして編成されます。申し込み方法と申し込み用紙はハワイ日米協会のウェブサイトwww.jashawaii.orgの教育プログラムの中に掲載されています。